

自昭和十九年十一月一日
至昭和十九年十一月九日

陣中日誌

獨立混成第十五聯隊第六中隊

陣中日誌例式

第一

陣中日誌ハ左ノ諸部團隊ニ於テ作ルヘキモノトス

大本營ノ各部隊便部ヲ除ク高等司令部編制上各部ニ区分スルモノハ其各部毎
ニ但部隊部ヲ除ク兵站監部ノ各部兵站司令部隊大隊獨立中隊砲兵隊隊員列
堡壘圍獨立堡壘獨立砲兵電信隊衛生隊病院縱列監視隊兵器廠豫備員發備廠忠
者輸送部馬廠

留守司令部及補充部隊ニ在テハ左ノ區分ニ應シ留守日記ヲ作り首トシテ第三
項乙ニ掲クル項目ニ準シ記載スヘシ

第二

陣中日誌及留守日記ハ諸隊團隊動員令發給ノ日ヨリ記載スヘキモノトス
特別部隊等ニ在テハ尤ツ到着セシ時候又ハ同相當官之カ記載ヲ始メ後ニ之ヲ主
任者ニ移スモノトス

第三

之ヲ作ルノ目的ハ左ノ二項ニ在リ

甲 各人若クハ諸部團隊ノ經歷若クハ遭遇シクル實況ヲ記載シ一ニハ戰史ノ用
ニ資シ一ニハ各人ノ勤務ニ他日銜銜スルノ参考ニ供ス

乙 編制教育補充給養衛生武器彈藥醫藥材料被服被具等凡テ軍需ノ事物ノ經

験ヲ録シ將來改良ノ材料ト爲ス

第四

甲ノ目的ヲ達セシムルニハ左ノ諸件ニ注意シテ記載スヘシ

一 命令訓令通報（補給作戦ノ點ニ於テハモ、ハ軍需ニ其要領ノ點ヲ指シ其詳細ハ該作戦日記ニアルコトヲ附記スヘシ）

二 毎日ノ位置（地ヲ云フヲ指シ留ル等）

三 行軍行程ニ關スル事項

四 戰鬪ノ景況（戰鬪ノ點ヲ指シテ記載スヘキモノニシテ戰鬪部隊ノ動向及戰果等）

五 戰鬪間ニ生シタル事件

以上ノ事ヲ記スルニ方リ時刻ヲ詳記スルコトヲ忘ル可ラス又以上ノ事ニ關シ自

己ノ部隊ニ影響セシ事項天候地形ノ險易道路ノ良悪人家ノ多寡等ノ總括的概

附記セサル可ラス

六 所属セシ軍隊ノ區分（陸海空軍ノ別及軍種ノ別）

七 人員ノ異動

八 戦中ノ傷者將校ノ官氏名ヲ録シ下士官兵卒及馬匹ハ其數ヲ録ス

九 野戰作戦等ノ施設

第十 其他凡ソ其一日間ニ生セシ緊要ノ事項

乙ノ目的ヲ達セシムルニハ左ノ諸件ニ注意シテ記載スヘシ

一 武器彈藥醫藥材料被服被具等ニ關スルコト

二 編制及施設令ノ作成上ニ及ボシタル影響等

三 補充給養及衛生上ニ關スルコト

四 教育及軍紀ニ關スルコト

五 非常ノ時機ニ際シテ爲シタル非常ノ處置例ハ、敵地ニ在テ住民ニ對シテ罰

金ヲ課シタル等

第六 高等司令部諸部隊諸官將ヨリ到達セル命令訓令通報及之ニ送呈セル報告詳

報其他死傷表武器彈藥消耗表或ハ前哨等ヨリ至レル報告等ハ凡テ其要領ヲ摘

ミ記事ノ後ニ低書シテ参照ニ備フヘシ、其原本ハ種類毎ニ一括シテ保存スヘシ

秘密ニ屬スル并別任務ニシテ時之ヲ待テニ揚載スル能ハサルモノト雖モ其

第七 妨々ニ至テハ或ハシテ詳細ニ其編未ヲ記載スルモノトス

第八 此日誌ハ月日時順序ヲ遂ニ下地名トテ明記セザレバ可ラズ而シテ訂部國隊長ノ長或ハ考課者之ヲ照檢之每日記勤 終尾ニ孫卿或ハ整理スルハシ

第九 此日誌ハ諸部團隊復員完結ノ日ヲ以テ終焉ト爲シ且一本ヲ廢止ニ時序ヲ

經テ陸軍省ニ原本ハ其部隊ニ格納スヘシ
陸軍省ハ此日誌ノ所屬ノ事項ヲ抄録之テ之ヲ保存シ他ハ皆陸軍本部ニ送り之ヲ陸軍文庫ニ格納スヘシ

第十 此例式ハ心ニ陸軍日誌ノ卷首ニ添付スヘシ

予日百研一〇八〇	作業開始	作業終了	人員
隊別	作業進度状況	人員	
指揮官	友通等五〇米足	人員	
隊員	友通等七〇米足	人員	
隊員	友通等一〇〇米足	人員	
隊員	友通等一〇〇米足	人員	
隊員	友通等一〇〇米足	人員	
隊員	友通等一〇〇米足	人員	
隊員	友通等一〇〇米足	人員	
隊員	友通等一〇〇米足	人員	
隊員	友通等一〇〇米足	人員	
隊員	友通等一〇〇米足	人員	
隊員	友通等一〇〇米足	人員	
隊員	友通等一〇〇米足	人員	
隊員	友通等一〇〇米足	人員	
人員			三六
人員			三六

宿營地	コカルビ	第一隊 運送場二。米完。交通場四。米完 第二隊 小待機場五。米完。交通場三。米完	兵 二九 兵 三一
-----	------	---	--------------

人員 將校以下 一二九名
コカルビ中隊主力は二六
今解六二

十一月三日 一明治青在青式舉行。七三。三期シテコカルビ中隊主力は二六
 分駐第一小隊。今歸仁現留部隊ハ夫夫宿營地ニ於テ一齊ニ宿

城邊坪。ハ三。式終了後直ニ作業開始

隊別	作業	進度	状況	人員
指揮班	戰用監視隊	米完	米完	一七
第一小隊	交通場六	米完	米完	三六
第二小隊	交通場三	米完	米完	二八
第三小隊	交通場五	米完	米完	二六

宿營地 コカルビ
 第一隊 運送場下七宿 篠原伍長

人員 將校以下 一二九名
コカルビ中隊主力は二六
今解六二

十一月三日 一明治青在青式舉行。七三。三期シテコカルビ中隊主力は二六
 分駐第一小隊。今歸仁現留部隊ハ夫夫宿營地ニ於テ一齊ニ宿

城邊坪。ハ三。式終了後直ニ作業開始

隊別	作業	進度	状況	人員
指揮班	戰用監視隊	米完	米完	一七
第一小隊	交通場六	米完	米完	三六
第二小隊	交通場三	米完	米完	二八
第三小隊	交通場五	米完	米完	二六

宿營地 コカルビ
 第一隊 運送場下七宿 篠原伍長

人員 將校以下 一二八名
コカルビ中隊主力は二六
今解六二

十一月三日 一明治青在青式舉行。七三。三期シテコカルビ中隊主力は二六
 分駐第一小隊。今歸仁現留部隊ハ夫夫宿營地ニ於テ一齊ニ宿

城邊坪。ハ三。式終了後直ニ作業開始

警報	二二四。空襲警報發令	警報	二二四。空襲警報發令
情報各電	一。五〇一六。二。航空母艦一二戰艦一。艦隊約四。敵機約四隊マ ニラ東方ヲ北上中ニシテ六日早晩沖繩南方約ニ。料所近ニ達 スル距離ニヤリ候成リテス	情報各電	一。五〇一六。二。航空母艦一二戰艦一。艦隊約四。敵機約四隊マ ニラ東方ヲ北上中ニシテ六日早晩沖繩南方約ニ。料所近ニ達 スル距離ニヤリ候成リテス
宿務地	コカルビ	宿務地	コカルビ
勤務	週卷下七官藤原伍長	勤務	週卷下七官藤原伍長
人員	將校以下一ニ八名	人員	將校以下一ニ八名
十一月五號	一。八〇。作業開始一七。作業終了	十一月五號	一。八〇。作業開始一七。作業終了
	二。一〇。夜間警報解除 球一六六部隊長		二。一〇。夜間警報解除 球一六六部隊長
指揮隊	交通隊 二五米見	指揮隊	交通隊 二五米見
第一小隊	交通隊 三〇米見	第一小隊	交通隊 三〇米見
第二小隊	交通隊 三〇米見	第二小隊	交通隊 三〇米見
第三小隊	交通隊 三〇米見	第三小隊	交通隊 三〇米見
第四小隊	交通隊 三〇米見	第四小隊	交通隊 三〇米見
受領	井上隊日日命令要旨左ノ如シ	受領	井上隊日日命令要旨左ノ如シ
手合	一。 陸軍少尉 田村忠藏	手合	一。 陸軍少尉 田村忠藏
宿務地	週卷下七官藤原伍長	宿務地	週卷下七官藤原伍長
人員	將校以下一ニ八名	人員	將校以下一ニ八名
十一月五號	一。八〇。作業開始一七。作業終了	十一月五號	一。八〇。作業開始一七。作業終了
隊別	作業進度状況	隊別	作業進度状況
指揮隊	交通隊 二〇米見	指揮隊	交通隊 二〇米見
第一小隊	交通隊 二〇米見	第一小隊	交通隊 二〇米見
第二小隊	交通隊 二〇米見	第二小隊	交通隊 二〇米見
第三小隊	交通隊 二〇米見	第三小隊	交通隊 二〇米見
第四小隊	交通隊 二〇米見	第四小隊	交通隊 二〇米見
人員	將校以下一ニ八名	人員	將校以下一ニ八名
十一月五號	一。八〇。作業開始一七。作業終了	十一月五號	一。八〇。作業開始一七。作業終了

警報	二二四。空襲警報發令	警報	二二四。空襲警報發令
情報各電	一。五〇一六。二。航空母艦一二戰艦一。艦隊約四。敵機約四隊マ ニラ東方ヲ北上中ニシテ六日早晩沖繩南方約ニ。料所近ニ達 スル距離ニヤリ候成リテス	情報各電	一。五〇一六。二。航空母艦一二戰艦一。艦隊約四。敵機約四隊マ ニラ東方ヲ北上中ニシテ六日早晩沖繩南方約ニ。料所近ニ達 スル距離ニヤリ候成リテス
宿務地	コカルビ	宿務地	コカルビ
勤務	週卷下七官藤原伍長	勤務	週卷下七官藤原伍長
人員	將校以下一ニ八名	人員	將校以下一ニ八名
十一月五號	一。八〇。作業開始一七。作業終了	十一月五號	一。八〇。作業開始一七。作業終了
	二。一〇。夜間警報解除 球一六六部隊長		二。一〇。夜間警報解除 球一六六部隊長
指揮隊	交通隊 二五米見	指揮隊	交通隊 二五米見
第一小隊	交通隊 三〇米見	第一小隊	交通隊 三〇米見
第二小隊	交通隊 三〇米見	第二小隊	交通隊 三〇米見
第三小隊	交通隊 三〇米見	第三小隊	交通隊 三〇米見
第四小隊	交通隊 三〇米見	第四小隊	交通隊 三〇米見
受領	井上隊日日命令要旨左ノ如シ	受領	井上隊日日命令要旨左ノ如シ
手合	一。 陸軍少尉 田村忠藏	手合	一。 陸軍少尉 田村忠藏
宿務地	週卷下七官藤原伍長	宿務地	週卷下七官藤原伍長
人員	將校以下一ニ八名	人員	將校以下一ニ八名
十一月五號	一。八〇。作業開始一七。作業終了	十一月五號	一。八〇。作業開始一七。作業終了
隊別	作業進度状況	隊別	作業進度状況
指揮隊	交通隊 二〇米見	指揮隊	交通隊 二〇米見
第一小隊	交通隊 二〇米見	第一小隊	交通隊 二〇米見
第二小隊	交通隊 二〇米見	第二小隊	交通隊 二〇米見
第三小隊	交通隊 二〇米見	第三小隊	交通隊 二〇米見
第四小隊	交通隊 二〇米見	第四小隊	交通隊 二〇米見
人員	將校以下一ニ八名	人員	將校以下一ニ八名
十一月五號	一。八〇。作業開始一七。作業終了	十一月五號	一。八〇。作業開始一七。作業終了

陸軍部	交通港四ノ発見
陸軍部	交通港五ノ発見

受領 獨立混成隊第十五隊隊作戦命令(要旨)左ノ如シ

第一軍ハ地方住民ト年隊トノ混居ヲ嚴禁シ十一月十日迄ニ之ヲ清掃
 大六辨
 フ期ス

一 地五隊ハ軍子方針ニ基テ來ル十日迄ニ現ニ地方住民ト混居シテ
 ル部隊ヲ東區隊會等轉居セシメントス

二 木部各隊ハ現作業ノ場地スル地ニ一隊ノ兵力ヲ以テ陣地附近ニ遊ナ
 二角兵全量中區隊會會場ヲ嚴禁シ十一月十日迄ニ一掃居スベシ

右ニ要スル材料ハ各隊毎ニ現地ニ於テ蒐集スルヲ本首トスセ一部ノ
 材料ハ逐次交付ス

四位區隊材料蒐集交付ノ爲木部各隊ハ明八日〇九〇〇迄ニ左記人員
 フ木部ニ差出シ柳主計大尉ノ指揮ヲ受ケシムベシ

木部(合衆木部)
 各中隊(合衆中隊) 兵 各一

受領 井上隊四二〇命令左ノ如シ
 一 獨立混成隊第十五隊第十五隊中隊ノ人員下士官一ノ四中隊
 ヲ各中隊ヨリ夫一隊ヲ明八日〇九〇〇迄ニ凡本部ニ差出シ柳主計
 大尉ノ指揮ヲ受ケシムベシ

取装ハ兒全軍裝ヲ一カ持參(毛布一枚)第六中隊ハ現地ヨリ行
 クモノトス

會報 一 本隊ハ新戰車使用法ヲ創案シ夫ヲナスコト
 一 〇。在青島港線ヲ戰車ニ使用スルニ簡便ナル方法
 二 發煙(創案)ニテ(着火火更おシテ)竹葉有リ合セ材料ニテ
 地形ハ發煙地ニ

三 長連寺製ニ關シ發煙器
 四 丙文ニ關シ發煙器

右側隊ハ下士官夫ニ五ノマテ行ヒ優待アル教宗有ニ對シテ
 ハ皆金銀ノ賞メテ授ケル
 二對戰中用次ノ教育アル行左記諸官ハ九日一〇。遊ニハ本報
 ニ重刊合ノニト

左記

西村中尉、森岡中尉、大岡中尉、美井少尉、川合少尉
 空軍に教育員各日六對戰中教育ノ度宗ヲ將冬ノコト

情報

十一月七日ニ三〇日電
 一五日マニラ空襲同日一六。五ルン島東方海面ヲ北上中アリシ敵機動部隊(夜襲)ハ反撃シテ六日海軍マニラ方面ヲ空襲ス七日マニラ地ニ空襲アリ該機動部隊ノ行動不果アリタラフ方面基地ニ歸投スルヤ或ハ海上補給ノ止更ニ比島又ハ南西諸島ニ作動スルヤ油断ヲ許サズ

宿務地
 コカール
 週着下七官ヲ原任長
 人員
 將校以下一ニ八名

十月八日頃

一。七三。大砲操演式舉行。八三。終了
 全島東天ノ連昇。皇國ノ紅潮ヲ究明ニ向ス。秋前西ノ諸島ニモスル舟渡。在食々重キヲ加フ。積積積起(兼ニ副資料ニ於テ)清ノ先ヲ吹ニ遊似シタルハ融テ
 一。九。作業開始。一。七。作業終了

隊列	作業進度状況	人員
指揮隊	交通壕ニ。米見	兵五
第一隊	小銃機体。六見	兵一〇
第二隊	機銃部一米見交通壕一。米見	兵二九

合報

II 合報 西六二〇

一地方住民ト混在掃捕ノ件ニ關シ來九月十日以降ノ宿營ニ於
通リ心得ハシ

ハ今歸ト被ニ復歸

ニ現地ニ於テス者露露

右ノ二有中河レカニ決定シ九月合報時迄ニ本部ニ報告ノコト

ニ兵舎構築ハ庫地作業ノ關係ニヨリ十一月十五日以降著ナスル

モノトス各隊ハ十一月十日會報時迄ニ適地ヲ選定シ左記事項ニ

付テ報告ノコト

左記

ハ棟敷坪數、ニ所果、赤坂敷、ヲ所果、萱葉果、繩ノ概量

兵舎ハ一個川隊ニ棟以下トス

三月十日機隊長第六中隊庫地ニ遊歩セラレルニ付中隊長ハ該日庫地

第六中隊庫庫在民混在調査

一ノ現ニ地方人ト混在シタル兵員數 八一一名

又總員ニ對スルパーセント 約 六三三%

二使用シタル家屋數 六軒

坪數 二四軒

別棟ニアルモノヲ混在ト見做サザル場合(里村ノ計ノ精舎ヲ除ク)

一ノ現ニ地方人ト混在シタル兵員數 六一一名

又總員ニ對スルパーセント 約 四七%

二使用シタル家屋數 六軒

坪數 一八軒

第三隊 交通隊ニ。米見

兵二八

合報

II 合報 西七日

一地方住民ト混住者掃ノ件ニ關シ米九十一月十日以降ノ宿營ニ關シ
通ノ心得ハシ

ノ今歸ト枝ニ復歸

ニ現地ニ據テ大等露營一八陣

ノ本報ニ報告ノコト

ノ降者手スル

ノ降者手スル

ノ降者手スル

ノ降者手スル

ノ降者手スル

ノ降者手スル

ノ降者手スル

ノ降者手スル

ノ降者手スル

ノ降者手スル

ノ降者手スル

ノ降者手スル

ノ降者手スル

ノ降者手スル

ノ降者手スル

ノ降者手スル

ノ降者手スル

ノ降者手スル

ノ降者手スル

ノ降者手スル

ノ降者手スル

ノ降者手スル

ノ降者手スル

ノ降者手スル

ノ降者手スル

宿營地
コカール

通着下士官 北原伍長

一第六中隊陣地内兵舍構築所ニ材料調書列紙ノ通

第三隊 交通隊六。米見

第二隊 小銃連隊六見LG連隊二見

第一隊 交通隊五。米見

指揮隊 交通隊一。米見

隊別 作業進度状況

十二月九日 一〇八〇。作業開始。一七〇〇。作業終了

基中隊本部ニ派遣()

將校以下 一三七名(山之上政辰一等兵并作業命令)

人員

宿營地 ロカール

通着下士官 北原伍長

一第六中隊陣地内兵舍構築所ニ材料調書列紙ノ通

第三隊 交通隊六。米見

第二隊 小銃連隊六見LG連隊二見

第一隊 交通隊五。米見

指揮隊 交通隊一。米見

隊別 作業進度状況

十二月九日 一〇八〇。作業開始。一七〇〇。作業終了

基中隊本部ニ派遣()

將校以下 一三七名(山之上政辰一等兵并作業命令)

人員

宿營地 ロカール

通着下士官 北原伍長

一第六中隊陣地内兵舍構築所ニ材料調書列紙ノ通

第三隊 交通隊六。米見

第二隊 小銃連隊六見LG連隊二見

人員 解城以下一二七名

十一日吉雨 一〇八〇〇〇坪地附近ニ兵舎建築作業開始

一部ヲ以テ厚地建築作業 一六〇〇〇作業終了

午前中ノ豪雨、爲作業ニ延滞ヲ來タス

二七〇〇〇被兵舎勿論完成 一八三〇〇終了

宿營地 コカレ

馬路 廻着下宿營地下延長

人員 洋校以下 一二七名

一、檢査 大橋

棟木 長丁約六米 厚七板 一五本

枕木 約五米 六板 四〇〇本

丸木(不規則) 約五米 四板 二五〇本

枕木(不規則) 長丁約六米 厚七板 一五〇本

床板 長丁約六米 厚七板 三五〇本

柱 長丁約六米 厚七板 一一〇本

軒桁 四米五板 厚七板 三五本

、 四米 厚七板 四〇本

、 六米 厚七板 四〇本

、 約七五〇〇

、 三〇〇斤

、 若干

人員 將校以下 一 二八名

十月十日 一中隊半數外出

所屬強七 一〇八〇 作業開始一七〇〇 作業終了

隊別 作業進捗状況

指揮班 羽倉二米克

第一隊 羽倉一五米川橋作五克

第二隊 交通隊一五米克

第三隊 羽倉一五米

訓示 第十方面軍司令官訓示別紙ノ通り

受領 九地四隊命令要旨日左ノ如シ

第一旅團ハ別冊第一八八〇部隊防衛担任地域内ニ於テ軍重要施設ヲ警備シテ防衛ヲ以テ秋田地域ノ警備ヲ任ズ
二地四隊ハ右ニ基キ担任地域ノ警備ヲ任ズ
三地四隊ハ右ニ基キ担任地域ノ警備ヲ任ズ

訓示

今次臺灣及南西諸島方面ノ作戰ニ関シ圖ラズモ優渥ナル勅語ヲ賜リテ恐惶感激ノ至リニ堪ヘス 臣 利吉

敵首ヲ奉體シニ意聖戰克遂ニ邁進セシトラ期ス

現下戦局ハ日ニ苛烈ヲ加ヘ次戰ノ機愈々急迫セリ將兵一同益々志氣ヲ昂揚シテ而上下ニ亘リ運ニ戰備ヲ充實克整シ協心戮力各其ノ任務ヲ貫徹シ以テ

御信倚ニ副ヒ奉ラシコトヲ期スヘシ 昭和十九年十月二十二日

第十方面軍司令官 安藤利吉

第百十回 野戦司令部 作務進捗

昭和十一年十一月二十日

野戦司令部 野戦司令部 野戦司令部

其ノ作務ハ實戦ニシテ
 隊ノ作務ニ先立テナリ同ノ因テ作務ハ折斷所無クシテ不整ビシ
 野ノ作務ハ日々作務ニシテ大ニ作務ハ折斷所無クシテ不整ビシ
 隊ノ作務ハ日々作務ニシテ大ニ作務ハ折斷所無クシテ不整ビシ
 野ノ作務ハ日々作務ニシテ大ニ作務ハ折斷所無クシテ不整ビシ

今大連野戦司令部南西諸島方面に於て作務ニ関スル進捗ハ

進捗

指揮地	コナルビ	人員	兵六
隊務	進捗下七官官下長	人員	兵六
人員	將校以下一三八名	人員	兵六
十一月二十日	一。八。作業開始一七。作業終了	人員	兵六
隊列	作業進捗状況	人員	兵六
指揮隊	洞窟 二米見	人員	兵六
第一隊	洞窟 二米見	人員	兵三五
第二隊	交通壕 三。米見	人員	兵三一
第三隊	洞窟 二。五米見 交通壕 二。米見	人員	兵二九
第四隊	洞窟 二。五米見 交通壕 二。米見	人員	兵二九
會報	II 會報 五十一日		
	十一月下旬 軍經理検査會施行サレシ後 兵ニ付各隊ハ十一月二十日		
	迄ニ自檢準備ヲ完了セリ		
	一 戰技教育ノ實施スルニ付各隊ハ自檢命令第六七號ニ依リ事務		

夏、明十四日一三〇。迄、五本部ニ集合ノコト
服装、徒手帶劍、巻脚絆

三、協力作業ハ二十五迄ヲ以テ一應打切リ、協力有ル則命アルヲ以テ
事、農作物増産ニ從事、十五日以降ニ於テ協力希望有ハ氏不
マ明ニ報告、扱ネ一ヶ月間

宿营地

コカールビ

勤務

週居下士官 宮下延長

人員

將校以下一ニ八名

十月五日

一〇八〇。作業開始

二、戰技教育ニ際シ、為事修員將校以下二三名一三〇。大隊本部
(今歸仁送集會、然モ三作命令第六七等ニ基テ)三三〇。小野井
中尉ヨリ戰技教育ヲ受ク
一六〇。終リ、一六三〇ヨリ將校全員應集會ニ於テ會食

一七〇。作業終了

隊列 作業進度状況

人員

指揮班

羽原一五名

女六

警不隊

羽原一五名 交通壕一五名 兎

女三五

警示隊

山崎隊三名 交通壕二〇名 兎

女三一

警不隊

羽原一五名 兎

女二九

四一七三。指揮班、警不隊、警示隊、交通壕、川兵食移取用、一八三。終

受領

獨立混成隊一五隊、隊日日命令 (兼一七三)

知照

一、列隊計畫ニ基テ十一月十六十七、兩日地区隊射砲操地設及

宿营地

物資集積場、河ヲ逆視ス

勤務

週居下士官 宮下延長

人員

將校以下一ニ八名

十月十五日

一〇八〇。作業開始、中隊半数外出

第一小隊一九名、丁前中機至戰車製作作業開始一

三。終了 一車完結

二陣地構築作業一七。終了

隊別 作業 進度 状況

人員

指揮隊 洞窟 二米完

兵五

第二小隊 洞窟 一五米完

兵一六

第三小隊 交通壕 三〇米完

兵二七

第四小隊 洞窟 一八米完

兵一八

宿營地 棚武川

勤務 週着下士官 宮下伍長

人員 將校以下 一二八名

十月十六日 一〇八〇。作業開始 一七〇。作業終了

隊別 作業 進度 状況

人員

指揮隊 洞窟 一五米完 交通壕 一〇米完

兵六

第一小隊 交通壕 二〇米完 小銃掩体 五完 絆紐 三完

兵三二

第二小隊 洞窟 一〇米完 交通壕 一〇米完

兵三三

第三小隊 小銃掩体 五完 交通壕 一五米完

兵三〇

二一七〇。第三小隊棚武川移轉終了

受領 井上隊日日命令要旨左ノ如シ 陸軍中尉 山下寛治

井上第三小隊 一機銃隊員、物取販賣所本員

命令 中隊命令

右機銃、通り仕命ス

左記

一左記ノ通り、週着下士官ニ服務スベシ

陸軍伍長 北原正教

週着下士官ノ主トシテ將校巡査ニ服務ス

情報

命令受領ヲ若出ス
十一月十五日 二一、五。日電

十一月十四日 中部大平澤方面ニ敵機部隊四群ハ一隊ハ巡改以
上ノ空ヲ基盤ト判断セラルル其ノ行幕ニ注意ヲ要ス
「オルシノ附近ニ群ヲソル層上一群以上出撃準備完了セルモノヤ
シ

ニミラ東方約四。料ニ出撃セル一群ハ主トシタルソノ高空襲ヲ
行ヒツツアリ昨十四日。九。〇。〇。ヨリ十五日夕刻迄ニ對テ東南方ハ。
唯ニ敵機水柱三回出現マ十一月十日敵機部隊未襲前ノ状
況ニ準ジアリ注意ヲ要ス
沿岸機三機同十六日。六。〇。〇。ヨリ那覇基英一五。度一七一。
度ノ間ヲ未襲ス

情報

十一月十六日。六。三。〇。ヨリ。〇。九。〇。ノ間ニ西海軍艦下命令

消息

十一月十五日 一六二大田隊長

人事

北原部長
解任以下 二二八名

十一月十五日

作業開始一七。〇。作業終了

隊別 作業進捗状況
人員

第一隊 洞窟一。五米完 交通壕一。〇米完 人員 六六

第二隊 交通壕三。五米完 人員 三二

第三隊 交通壕二。九米完 洞窟一。五米完 人員 三三

第四隊 交通壕二。九米完 洞窟一。五米完 人員 三五

情報

「ウルシイ方面機部隊十一日二十一日二十七日指揮官ハ頻リ補

人員	將校以下一七八名
指揮地	棚式川
職務	廻着下之官北原佐長
情報記録	以上ヲ綜合スル敵ハ十音隊ヨリ發動シ開始セルモノハ五日(二十五)。 一。西部隊防衛担任地或全地也。本軍警報發令 〇。西。四ノ大島(長崎縣東浦方)原高高度七。〇。〇。〇。〇。 一。通着シアリ
	三十四日西方カロン方面用海軍重ミシテ且ツニューギニア方面 三軍集中ノ輸送無用ハ十五。〇。逆次出撃ヲ開始セルモノハヤシ 四在支米皇軍ハ十一月下旬以降比島方面作戰部隊指揮官 一。通着シアリ

人員	兵六
指揮隊	洞窟一五米完
警不隊	洞窟二米完
警不隊	交通線一五米完 洞窟一米完
警不隊	洞窟一五米完
人員	兵三 兵二九
指揮	II 王急命令 (於今ハハ、二、三)
指揮	一。明日早參謀室中ヨリ陣地構築案成況ヲ傳テ各隊ハ明。九 〇。迄ニ掘リ出シタル堀ニ備装ヲ行フベシ 獨之兵隊第一二隊隊日日命令 四十五左ノヤシ 陸軍大尉 田中成治
指揮	右者九日伊江島地臣隊ノ管轄スル對戰車肉迫攻撃ヲ查明見 摩多ク一箱ニ日ノ豫定ヲ以テ伊江島ニ出張ヲ命ス 北地臣隊命令 四十五左ノヤシ (於今ハハ、二、三)

機要命令
第六九號

一敵ハ機動部隊ヲ以テハリオ群島方面ニ於テ亦其ノ基地航空部
隊ヲ以テ支那基地ヨリ夫々出動準備中ナルモノナリ近ク南西

諸島ヲ攻撃スルヲ首肯アリ

當今ノ間毎日六三〇一〇九〇〇ニ到間内掃蕩戦備下令セラレ

ニ朕隊ハ戦斗計畫書ニ基テ防空戦備ヲ強化セントス

ニ人員ノ掩護ニ關シテハ防空監視哨及警戒隊奉任作業隊モ空

襲隊ニ於ケル所要ノ掩護設備ヲ行ハトクニ陣地附近ノ假兵舎

ノ偽裝遮蓋ニ徹スベシ

西兵器彈藥糧秣其ノ他資材ハ努メテ本陣地内ノ洞窟ニ令敵

格納スベシ

洞窟雨水等ヲ爲防濕上適當ナラズルモノハ洞窟附近ニ一時

令散遮蓋シ空襲時洞窟内ニ格納シ万全ヲ期スベシ

區区ハ尾比久原南方地附近ニ區區掩体ヲ構築シ空襲時

令散遮蓋スベシ

ニ本陣地ハ洞窟ニ格納スルニ於テ兵器彈藥糧秣其ノ他資材ハ格納

ノ萬全ヲ期スルニ爲常時検査ヲ勵行スベシ

北地ニ隊命令西マナリ(於一七六一七六〇地)

一旅団ハ築城材料ノ伐材作業ヲ急行ス

ニ地ニ隊ハ材料作業隊ノ人員ヲ差出セントス

ニ各隊ハ左記人員十一月三十日ハハ。伊豆味國民學校ニ居

出シ藤原少尉ノ指揮下ニ入ラシムベシ

服装ハ軍裝トス

記

第二大隊 下七官 一兵七

四材料作業隊ノ服務期間ハ概テ三十日間トシ掃蕩給與ハ南

地ニ隊担任トシ作業隊員ハ無弁各人ニ付一ヲ携行スベシ

掃蕩地 棚式川

勤務 週着下七官 北原伍長

散員 將校以下 一二八名

十月十日各隊 一〇八。作業開始 第一小隊戰車内で資材作製作業

一六。終了 戰車一完成 陣地構築作業一七。終了

隊別 作業進度状況 人員

指揮班 洞窟 一、五米完 兵 五

第二隊 交通壕 三〇米完 兵 一八

第三隊 交通壕 四〇米完 兵 一七

第四隊 洞窟 二米完 兵 一五

受領 井上隊長命令 要旨 如下 如左

井上隊長 第一獨混二五作命令 第七。隊 第三項 三基ヲ要員左ノヤリテ出スルニ

(携行品ハ同作命令 第四項ニ基ク)

第六中隊 兵 六

第六中隊 現場地ヨリ伊豆味三人路(理髮店)ニ集合シ第五中

隊 下直進ノ指揮下ニ入リ。八。〇。迄ニ伊豆味木圍民衆學校ニ至ルベシ

命令 中隊命令 (二一九三三。於棚武川) 應軍一等兵 小松 敏久 刀

月 山本正 己

右前并命令 第八。隊 之 基 明 二 四 〇 七。 迄 三 伊 豆 味 三 又 路 (理

髮店) 集合 五 中 隊 下 七 官 ノ 指 揮 下 ニ 入 ル ベ シ

宿營地 棚武川

幕 務 廻添下七官 比原 伍長

人員 中隊長 伊江島 出張

將校以下 一二七名

十月十日

一〇八。作業開始 一部兵ヲ以テ炊事及入浴場構築等

第一小隊 一八名 四 次 資 材 作 製 戰 車 模 型 一 完 成

二〇八。第一小隊 一八名 隊長久保田 伍長以下八名 棚武川 向

宿務台地	柵武川	第大中隊	十一月二十八日ヨリ三十日迄	十二月二十日ヨリ三十一日迄	井上隊 命令 (一、二、三)	第示隊	交通壕 三〇米完	兵 三〇
						第示隊	交通壕 二〇米完	兵 三一
						第示隊	洞窟 二米完	兵 一八
						指揮班	洞窟 五米完 交通壕 一〇米完	兵 六
						隊別	作業進捗状況	人員
							二六發・九〇〇列着 陣隊主力ニ復歸 直子ニ作業開始	

受領 井上隊 命令 (一、二、三)

井上隊第八班 一掃泥ニ作命第六十八班第三項ノニ據ル担任已域内ノ勤明左ノヲ服務スベシ

人員 一隊兵小隊 久月山本正己 掃泥ニ作命第七〇班ニ基キ

早土部隊ニ出張中隊長伊江島ヨリ歸隊

將校以下 一、二、六名

十一月五日晴	一〇八〇作業開始 一七〇〇作業終了	隊別	作業進捗状況	人員
		指揮班	洞窟 五米完	兵 五
		第小隊	交通壕 五〇米完	兵 三三
		第示隊	交通壕 三〇米完 杆紐	兵 三一
		第示隊	交通壕 三三米完	兵 二九
受領	知立隊 第五聯隊 日日命令 要旨 日左ノ如シ			
備令 第一〇一	一本職明 三十日伊江島地已隊ノ空負旋スル水際戰半指對ノ			

夕ノ伊江島ニ出張ス(即日歸隊ノ豫定)	陸軍少尉 田村忠藏
右本職ニ隨行ヲ命ズ	
備武川	
廻着下士官 小山恒長	
人員 將校以下一二十六名	
十一月二十三日 一〇八。作業開始 中隊半数外出	
二一七。作業終了	
隊別 作業進捗状況	人員
指揮班 洞窟ニ米完	兵五
第二隊 交通隊ニ五米完	兵二九
第三隊 洞窟一五米完 交通隊ニ米完	兵三四
第四隊 交通隊ニ米完	兵三一

命令 中隊命令	左記如クマル二十九日、防衛隊及警防團教育教官助教助手ヲ命ズ
左記	
教官 陸軍少尉 原田政治	
助教 陸軍伍長 宮下仙牛	
同 月 鈴木照男	
助手 陸軍兵長 小林義男	
同 月 堤谷壯市	
同 月 陸軍上等兵 大久保久雄	
同 月 同 保科多平	
同 月 同 松下 昇	
同 月 陸軍一等兵 甚井正史	
會報 正會報要旨左ノ如シ	

<p>一各隊ハ次期協力有アル迄各烟掩体迄視哨洞窟構築ニ着手 ヲ注干陣地ノ敷置備ヲ計レバシ</p> <p>二因攻査間ハ十二月二日豫定ニ表更サレタルニ付各隊ハ陣地構築 築作業ニ着手ノコト</p> <p>三幹部教育ヲ夕メ將校全員二十四日ハ三〇迄ニ△三五八五高 地ニ會合コト(各隊並)</p>		
宿營地	柵武川	
勤務	週着下士官 小山 伍長	
人員	將校以下 一 二六名	
<p>十二月二十三日 一〇八作業開始、一七〇〇作業終了</p> <p>一部ノ兵ヲ以テ材料作業</p>		
隊別	作業進度状況	人員
指揮班	洞窟 二米兎	兵 七
	第一小隊 交通壕ニ。米兎 洞窟ニ米兎	兵 三三
	第二小隊 交通壕ニ。米兎	兵 三一
	第三小隊 洞窟 一五米兎 交通壕一。米兎	兵 二九

<p>井口合隊八連一 陸軍曹長 木村 武夫</p> <p>右者務ニ周スル打合せ會ヲ席ノ爲明ニ二十四日名護野旅 團司令部ニ出張ヲ命ス</p>	
會報	<p>II 會報要旨左ノ如シ</p> <p>一最近伊江島ニ於テ腸チフス決定患者一名、伊豆味真味山 三角安舎ヨリ疑似患者獲至シアルニ付キ注意ヲ要ス</p> <p>二各隊ハ陣地構築期間持ニ構築ニ関シ注意ヲ傾注スベシ</p>
宿營地	柵武川
勤務	週着下士官 小山 伍長
人員	將校以下 一 二六名

十一月五日 一〇八〇〇。作業開始 一七〇〇〇。作業終了

二〇八〇〇。一七〇〇〇。迄將校全員並大隊人員施スル内攻

演習男名簿

隊別	作業進度	状況	人員
指揮班	洞窟内 一、三米迄		兵 六名
第一隊	交通壕 三〇米迄		兵 三名
第二隊	洞窟内 一、五米迄		兵 二名
第三隊	交通壕 三〇米迄		兵 三名

宿营地 相武川

職務 週番下士官 小山伍長

人員 將校以下 一二五名

十一月五日 一〇八〇〇。作業開始 一七〇〇〇。作業終了
 十一月五日 二 幹部教育、中隊陣地ニ於テ全員施サレル。七、〇〇〇。ヲ
 所要人員ヲ以下準備

備考	数量	人員	備註
小銃各個機件	一六五		
LG 各個機件	四一		
重機用各個機件	二二		
交通壕	六三〇〇	五、一〇〇	一、三〇〇
掩蔽交通壕	木柱	一一〇	五五
複合掩蔽部	三〇	一〇〇	二〇〇
洞窟大格柵庫	一四〇米	三〇	六〇
洞窟洞柵庫	二二三	二二三	八〇
備考	数量	人員	備註
数量人員標準表参照			

一 聯隊行動諸令圖ニ付テハ防諜ニ精ニ履ナルベシ
 二 各隊ノ軍事ヲ中絶シ訓練中對戰車内攻ノ教育及對戰車
 内攻ノ教育材ヲ採集取扱ヲ研究シ習熟スベシ
 三 移動ノ時期ハ十二月初旬ノ豫定ス
 四 各隊ノ移動ニ伴フ最少量一切ノ荷物ノ梱装ノ数量ヲ十分
 迄ニ報告ス(正ハ二十七日會報時迄ニ荷物ノ梱装ノ數量(K)容
 積(立米))
 五 大築城材料ハ必要ノ量ヲ精算行スルコト 但シ新夕ニ到着スル
 部隊ニ付テハ必要ノ量ヲ預置ス
 六 各隊ノ計畫準備スル行事ハ豫定ノ如ク實施スベシ
 七 荷物彈藥糧秣ハ過早ニ移動スベキニ別命ヲマツテ移動
 スベシ
 八 借用物品ハ必ず返済ノコト
 九 沖繩縣周頭郡今歸仁村諸名

指揮官	連隊長 田村 少將
副官	連隊長 田村 少將
參謀	連隊長 田村 少將
人員	連隊長 田村 少將 副隊長 田村 少將 將校以下 一三二名 (衛生班見習官野澤 章大塚本部復隊)
後方	連隊長 田村 少將 副隊長 田村 少將 將校以下 一三二名 (衛生班見習官野澤 章大塚本部復隊)
命令	連隊長 田村 少將 副隊長 田村 少將 將校以下 一三二名 (衛生班見習官野澤 章大塚本部復隊)

	十一月二十日中隊命令ニヨリ防衛隊及警防團ノ教育ヲ行ハシメテ ノ通り免命ス
	免 陸軍少尉 原田政治
	命 同 田村忠藏
會 報	II 會日報告ニヨリ如シ 一左記ニヨリ對戰車ノ教育ヲ查問シテ行ハシメテ 三十日午前中第四中隊機關銃中隊、森林團小隊 十一月一日 兼井小隊、原田小隊 十一月八日ヲ以テ、關毎日大砲連隊教育ヲ行ハシメテ、依而ハ 之ニ對シテ教育ヲ行ハシメテ 十一月八日對戰車ノ教育ヲ行ハシメテ、依而ハ 關毎日大砲連隊教育ヲ行ハシメテ、依而ハ
宿營地	關毎日大砲連隊教育ヲ行ハシメテ、依而ハ 十一月八日對戰車ノ教育ヲ行ハシメテ、依而ハ 關毎日大砲連隊教育ヲ行ハシメテ、依而ハ
多 務	關毎日大砲連隊教育ヲ行ハシメテ、依而ハ 十一月八日對戰車ノ教育ヲ行ハシメテ、依而ハ 關毎日大砲連隊教育ヲ行ハシメテ、依而ハ

人員 林枝正 二五六

土月十日晴	一〇八〇。本林團中尉ノ指揮ニヨリ對戰車ノ教育ヲ行ハシメテ、前進陣地 竹村中隊ノ位置ニ於テ教育ヲ行ハシメテ、一七〇〇。終了
	二〇八〇。二隊原田少尉以下二十五名柵武川主陣地ニ於テ 一〇〇〇ヨリ一七〇〇迄同陣地ニ於テ對戰車ノ教育ヲ行ハシメテ、
	施
	十一月二十九日會日報告ニヨリ、關毎日大砲連隊教育ヲ行ハシメテ、依而ハ 一三〇〇ヨリ一七〇〇迄同陣地ニ於テ對戰車ノ教育ヲ行ハシメテ、依而ハ
北地区隊命令	命令ニヨリ、關毎日大砲連隊教育ヲ行ハシメテ、依而ハ 一三〇〇ヨリ一七〇〇迄同陣地ニ於テ對戰車ノ教育ヲ行ハシメテ、依而ハ
一地区隊ノ對戰車ノ教育	對戰車ノ教育ヲ行ハシメテ、依而ハ 一三〇〇ヨリ一七〇〇迄同陣地ニ於テ對戰車ノ教育ヲ行ハシメテ、依而ハ
二各隊ノ對戰車ノ教育	對戰車ノ教育ヲ行ハシメテ、依而ハ 一三〇〇ヨリ一七〇〇迄同陣地ニ於テ對戰車ノ教育ヲ行ハシメテ、依而ハ
對戰車ノ教育	對戰車ノ教育ヲ行ハシメテ、依而ハ 一三〇〇ヨリ一七〇〇迄同陣地ニ於テ對戰車ノ教育ヲ行ハシメテ、依而ハ

北地区隊命令
十一月二十日

ノ討画ヲ立止ホスベシ

命令 中隊命令

一左記ノ右明ニテ九日午後三時迄民合同演習ニ於ケル補助官ヲ命
ズルニ依テ右演習討画及民衆指導等ノ領ノ事ヲ科ラヌニ依
リ別ニ示ス所間及場所ニ集合スベシ

清山 木林岡中尉久保田伍長 第一小隊 兵五名

菴川 小口軍曹、佐藤原伍長 第二小隊 兵五名

吳我山 小池軍曹 第三小隊 兵五名

湯川 小山伍長 第四小隊 兵五名

渡歸仁 木村曹長 第五小隊 兵五名

會報 照隊會報

一移駐準備ノ爲今敷松納シタル兵器彈藥ノ梱包ヲ陣地ヨリ
撤シ却テ森内ニ集積スルヲ嚴禁ス
兵器彈藥ノ梱包ヲ却テ森内ニ搬出スルコトナク依然トシテ今敷

格紙ニ依リテ左ノ指差ヲ被ルカ如キコトナキ様 嚴ニ戒マシム

宿營地 謝名

井口命第八十七師ニシテ今敷松ノ地ニ巡警將校 木林岡中尉(同行

少尉交代服務)

部隊衛兵司令 小平兵長 歩哨係 土屋上等兵 歩哨 丸田春

原 若林春男 中山傳治 金井有忠

週番士官 田村少尉 週番下士官 品原伍長

週番上等兵 菅澤上等兵 倉田伊佐天 黒田伊男

將校以下 一五五名

十月二十日 非常召集、彈藥ヲ除ク完全軍ヲ 校度ニ懸列、大隊長

ヨリ軍裝檢査受檢。五。終了

大隊長 講評 四ノ旨ヲ通シ

一 大隊編成來最初ノ試テアル、會々施シテ其ノ有意義ヲ感ス
ル、概テ可ナリ、時聞ニ於テ先着カ三ニ分後着カ四ニ分テリ
軍裝ハ巻脚絆ヲ着ケヌヲ飯盒ヲ持タヌモノ翻帶包消
毒包、除毒包、救命器ヲ携行セヌヲ兵アリ、要スレハ非戰
斗的軍裝ト認称スルニ適當ナリ、時聞モ最大限三〇分
ヲ以テ可能ナシテアル、今後及後訓練ニヨリテ此種ノ戰鬥
準備ニ遺憾ナキヨ期セ

中隊長所見

本隊長所見、全隊南島林、夜洞燈火ヲ用ヒス、會々施スル
カ本旨デアリ、喧擾ニ陥ツテハナラヌ、第三小隊官脇一等兵ノ
軍裝及時聞ハ他兵ノ範タリ

二〇六、三〇訓練空襲警報發令、全員待避處ニ待避
ノ準備、隊命令、要上自、たノ如シ(一、二、三、四、五、六、七、八、九、一〇、
一、情報ニヨリハ有カナル下機、動部隊ハ二十八日比島方面海

受領

今度命
一 情報ニヨリハ有カナル下機、動部隊ハ二十八日比島方面海
二 出現北道續行中ナリト
三 二十日、六、一、球一六一ノ部隊長ハ南西諸島全域ニ對シ
警報發令セラル

一 部隊入連ニ待避行事ニ遺憾ナカラシメントス

二 第六中隊ノ兵三ヲ差出シ、對空射撃ニ任スベシ

三 監視哨ノ位置ハ現地ニ於テ指示ス

四 各隊ノ速カニ待避準備ヲ完了スベシ待避ノ時聞ハ
別命ス、九、〇、ヨリ一六、〇ノ間ハ各隊各ニ作業訓練ニ任
スベシ

一、〇、七、〇訓練空襲警報解除

二、昨中隊命ニヨリ、軍官兵民合同演習出席者各部落ニ至後

三、〇、八、〇訓練空襲警報發令、〇、八、三〇解除

四、〇、九、〇指揮班第一小隊前進陣地竹村令隊ノ位置ニ於テ

對戰車肉攻査照準備作業

五、〇、九、〇第二隊柵式川主陣地ニ於テ對戰車肉攻査照準備

備作業	六隊三小隊休養	七軍官民藝備備者一三三。終了一五三。講評	八一八。指揮班第一小隊準備作業終了一八。第二小隊準備作業終了二〇。今歸仁校者	復領 井 上 隊 命 令 西 女 旨	普命隊分派 一 陸軍中尉 木村 剛 大 二 同 関 太郎	會 報 左 對 空 挺 戰 斗 研 究 本 員 ヲ 命 不 取 隊 會 報 要 旨	一 對 空 挺 戰 斗 研 究 本 員 八 合 同 研 究 上 左 記 ノ 中 研 究 記 十二月五日迄三小隊隊長ニ提出スベシ	記
-----	---------	----------------------	--	--------------------	------------------------------	---	---	---

宿營地 謝名	謝名	勤 務 週 着 士 官 木 村 曹 長 週 着 下 士 官 鈴木 伍 長	人 員 週 着 上 等 兵 横 田 一 等 兵 平 林 恒 久 山 岸 貴 美 天 陸 軍 一 等 兵 笠 井 正 天 兵 技 下 士 官 被 教 育 者 ト シ テ 三 一 野 兵 廠 二 分 遣	將 校 以 下 一 二 四 名	十二月二十日晴 一〇五。起床〇六三。ヨリ指揮班第一小隊前進陣地竹村合隊ノ位置ニ於テ對戰車肉攻演習會員施	二 三 小 隊 棚 武 川 主 陣 地 ニ 於 テ 對 戰 車 肉 攻 演 習 會 員 施	一 二 三。指揮班各小隊演習終了
--------	----	--------------------------------------	---	-----------------	---	---	------------------

敵空挺部隊用法(第二大隊研究員)

二月三十日艦浪一五作命第七四號ニル對戰車肉攻演習材ノ取扱

取扱教育法教育アルニ付各隊將校下士官ハ明三十日一三〇。

迄三小隊隊長々座ニ集合シテ

二十兵兵器被服ノ手入後休養

北地已隊命令西女旨

一獨立混成隊第一聯隊作命第六九號ノ丙班隊備入之ヲ

甲止ス

獨立混成隊第一聯隊命令西女旨 (二、二九、一八、九)

一レイテ島ノ野況ハ皇軍ニ有利ニ進展シツツアリ

軍ハ情勢カニ即應スル態勢ニ移行ス

二聯隊ハ嚴ニ企圖ヲ阻匿シツ、尔後ノ行動ヲ準備スルト共

一情勢ニ即應スル訓練ヲ命令施セントス

三各隊ハ集積彈藥糧秣等、現位置ヨリ運搬ニ開始シテ

別ニ指示ス

四現ニ訓練中ノ對戰車内攻ノ至期ハ一時延期ニ會シテ

期ハ別命令ス

獨立混成隊第十五聯隊日日命令西女旨 (十一月二十九日)

第六中隊 陸軍一聯隊 世井正夫

右軍技術部下士官候補者トシテ第三十一野戰兵器

廠ニ分遣ヲ命令ス、然河個人裝備ヲ完備シ十二月一日月

廠ニ至ルベシ

井上隊命令西女旨

一右隊ノ進リ日道務政ニ服務スベシ

四日木村中尉 五日原田少尉 六日田村少尉

七日木村曹長

會日報

十一月一日ヨリ日課時限ヲ左ノ通り變更ス

夜床日朝兵呼 〇七〇〇 會日報 一七三〇

朝 會 〇八〇〇 夕 會 一七三〇

診 新 〇九三〇 日夕兵呼 一九三〇

昼 會 一三〇〇 消 燈 二〇三〇

指原地

新 名

勤 務

部政衛兵司令堤谷兵長 歩哨保高田上等兵

歩哨井澤兵長 高遠兵長 小坂松樹 傳田良平

週番士官木村曹長 週番下士官鈴木伍長

週番上等兵藤田一等兵 平林恒久 山岸貴美夫

人 員

册枚以下一二三名